



# チャレンジ！一歩前へ

郡山市立大槻小学校  
学校だより No.48  
令和5年 2月 3日  
文責：校長 酒井 健

## ◇2月になりました。「2月は逃げる」・・・あっという間に過ぎ去ります。

以前にもお伝えしましたが、「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われるように今、とても速いスピードで時が経過しているように感じます。新年を迎えたばかりと感じていましたが、もう既に2月となってしまいました。

この2月は、6年生にとっては「卒業」に向けての、そして1～5年生にとっては「進級」に向けての「心の準備」の時期となります。毎日、心を落ち着かせて、じっくりと、確実に心を大きくして行ってほしいと思います。来年度（令和5年度）は、もう、すぐ目の前です。

### 校長のひとりごと

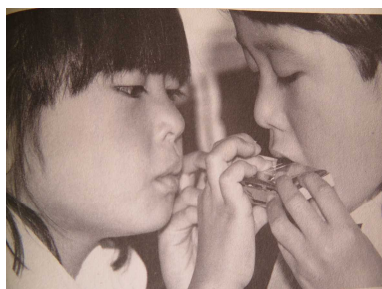
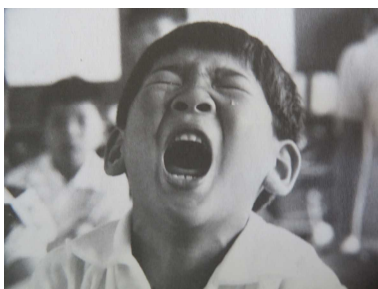
今日は、「ひとりごと特集」です。私は、新採用教員として、いわき市の平駅〔現在のいわき駅〕のすぐ近くの小学校に勤務しました。800人ほどの児童数の大規模校でした。平成元年のことです。そこで、5年・6年と担任をして、涙・涙で卒業式を迎え、次の年は、なんと、1年の担任となりました。卒業式からの入学式・・・という目まぐるしい転換だったと覚えています。実は、この年、初めての「生活科」の導入の年でした。今では、1・2年生は当たり前のように「生活科」を学習していますが、この「生活科」という学習のスタートの年であったため、男性職員も必要だろうということで、白羽の矢が私に・・・。

初めての1年生・・・初任者だったので、全てが「初めて」ではありましたが・・・当時の学年主任の先生からは、「先生は、話すスピードが速い！相手は6年生ではなく1年生なんだ！それでは子どもたちは理解できないよ」「1年生の子どもの気持ちに寄り添いながら話しかけないとだめだよ」等々、たくさんのご指導をいただきながら、4月をスタートさせました。

1年生の子どもたちの気持ち、発達段階、心の動きなどをもっと知りたいな～と思っていた時、本屋さんで1冊の本が目にとまりました。

『1年1組あのね帳』～あなたの知らない6歳の子供たちがここにあります～  
思わず即購入！30年以上前のお話です。

この本には、1年生の子どもたちの詩と写真、先生のエッセイがたくさん載っていました。担任の先生〔鹿島和夫さん〕の撮った写真がすばらしい！生き生きとした子どもたちの表情がちりばめられています。



たくさんの子どもたちの詩の中から一つ・・・

#### おもしろいこと

がっこうでのおもしろいことは  
きゅうしょくをくばること おそうじをすること  
ねんどあそびをすること にちばんになること  
それとせんせいと すもうをすることです

この本に巡り会えて、私は、目の前の子どもたちの素直な心、ピュアな気持ちに寄り添う教師になろうと決意を新たにしました。新採3年目の若き青年教師のお話でした。おしまい！

【出典 学級通信「1年1組あのね帳」 著者 鹿島和夫】